

令和2年 議会報告会における意見・要望等について

	意見・要望の概要	回答	報告会 会場 【対象振興会】
1	<p>市内全部のコミセンに冷暖房を完備できないか。避難所として指定するならば不可欠と思う。小学校の体育館などはついてはいるが、何らかの方策をしないと避難所としてはきついのではないかと感じる。国体記念体育館のように大きいものは冷房がある。小中学校の体育館にもないが、中規模以下のものはつけられないというもおかしいと思う。 (補足) 亀ヶ崎コミセンは併設する体育館へのエアコン設置の要望あり</p>	<p>【危機管理課】 避難所として、衛生管理や熱中症対策の面からもコミセンや小中学校体育館にエアコンがあればという声は理解していますが、現実問題として避難所全てに設置することは財政状況等から難しいと考えます。</p> <p>【まちづくり推進課】 要望のあるコミセン調理室・集会室等冷暖房設備の整備していない部屋につきましては、市としては設置しないこととしています。しかし、昨今の猛暑等によりエアコン設置の要望が多くあることから、コミュニティ振興会（地域）負担によって設置することは可能として、平成30年12月のコミ振研修会において説明しております。設置いただいたエアコン機器につきましては、市に寄付していただき、設置後の電気料、修繕（小修繕は除く）、更新等は市の負担とすることとしております。</p> <p>【教育委員会 スポーツ振興課】 冷暖房設備等がある国体記念体育館と武道館以外のスポーツ施設及び小中学校体育館については、現在のところ冷暖房設備の設置は予定しておりません。</p>	
2	<p>内水氾濫が毎年起こり得る状況なので、災害列島の中で、国内有数の安全安心な防災対策が施されて住みやすい酒田市として地方創生や移住のアピール要因になるぐらいの防災対策を要望する。 さらに、津波ハザードマップを現在策定中で会議にも参加しているが、津波が引いた後の浸水状況の想定や浸水後の排水対策を津波ハザードマップに示してほしい。 (若竹町・若原町側の道路（県道吹浦酒田線（旧国道7号））が高くなっているため、千石町・亀ヶ崎地区の水が引きにくいとのこと)</p>	<p>【危機管理課】 現在策定中の津波ハザードマップにおいては、津波から命を守ることを第一目的として、最大浸水想定（津波による浸水が最も広がる時点における浸水区域）を表示することとしています。 津波が引いた後の浸水状況（水の引き方）については、現時点でシミュレーションデータが存在しないため掲載は難しいです。浸水後の排水対策については、避難行動に資する情報として掲載する意義があると考えますが、今回のハザードマップ作成は既に校正段階にあるため、次回以降の改訂での掲載を検討いたします。</p> <p>【土木課】 今後、降雨時の排水状況の把握に努めるとともに、必要に応じて、関係機関と連携を取りながら対策方法等を検討し、既存施設の機能や維持管理に支障があるものから順次対応していきたいと考えております。 また、定期的な施設の維持管理に努めております。</p>	<p>亀ヶ崎 コミュニティ 防災センター</p> <p>（ 亀ヶ崎 松原学区 港南 ）</p>
3	<p>若宮町、中の口、亀ヶ崎でも浸水が起きていた。ポイントごとではなく、酒田市のハザードマップで水害（河川氾濫、津波）、地震・避難所はできているが、雨に対応するもの（内水氾濫）がない状況である。 以前は東町のあたり（ヤマザワから大井建設、加藤総業があるあたり）が大雨で水がついていたが、国道47号の4車線化の道路整備で水がつかなくなった。そのしわ寄せが、アトラム（勤労者福祉センター）側にきている。今回（9/4）通行止めになった（国道7号から県道酒田松山線への進入禁止）。以前は、中の口だけだったが、アトラムの前まであふれるようになった。道路整備によって水の流れが変わっていった。国交省が国道のかさ上げをしたことで県道に水が付きやすくなった。インフラ整備で日々変化している。酒田市全体で水がつく場所を拾い出してもらうとともに、これをどうするか、土木の建設的な目線で俯瞰しないとわからないのではないかと。浸水箇所を一つ一つ潰しても、しわ寄せはどこかに行ってしまう。酒田市のまちとしてトータルで見たい。</p>	<p>【危機管理課】 雨による浸水災害に対応するものとして、内水氾濫マップを作成し（酒田市地理情報システムさかたまっぷ➡防災➡内水氾濫マップ）公開をしています。この内水氾濫マップは、浸水路線（道路）を表示に限られており、洪水ハザードマップのように区域や浸水深を表示するものではありません。強雨による短時間浸水被害が酒田のみならず全国で頻発している中で、内水ハザードマップの必要性は認識しており、作成について検討させていただきます。</p> <p>【土木課】 近年、全国各地で局地的な集中豪雨による浸水被害が多発する中、本市におきましては、今年9月4日の豪雨により、市内全域で浸水被害が発生しております。この豪雨は、時間最大雨量が76mm、総雨量が152.5mmという猛烈な降雨であり、本市が定めている整備基準の50.4mmの雨量を大きく上回る豪雨災害となりました。 今後、降雨時の排水状況の把握に努めるとともに、必要に応じて、関係機関と連携を取りながら対策方法等を検討し、既存施設の機能や維持管理に支障があるものから順次対応していきたいと考えております。 また、定期的な施設の維持管理に努めております。</p>	

	意見・要望の概要	回答	報告会 会場 【対象振興会】
4	多額の費用を投じた駅前開発が進み、11月8日にA棟がプレオープンする。オープン前から駐車場の少なさを心配している。プレオープンのみならず、利用者の駐車場はどの程度用意しているのか。他に駐車できる場所を用意すべきと思う。	<p>【都市デザイン課・教育委員会 図書館】</p> <p>ミライニでは、市営立体駐車場の完成に合わせて令和4年春に中央図書館を移転する計画としております。それまでの期間は、駅前での憩いの場や観光案内機能だけの限定的な利用としており、公共交通や徒歩・自転車での利用となることについてご理解をお願いします。</p> <p>令和4年春完成予定の市営立体駐車場は262台駐車可能となっており、平時ピーク時想定の利用台数や総合文化センターの駐車場規模などを参考に計画しております。また、ホテルやレストランは周辺に4箇所延べ100台以上の専用駐車場を確保して対応をしています。これらにより、一定規模の駐車場は確保されるものと考えています。</p> <p>ただし、グランドオープン直後や大きなイベント開催時における駐車場の混雑対策は、十分検討していきたいと考えます。</p>	
5	非接触型の体温計は人数が多いと時間と労力がかかりすぎるので、通過するだけで不特定多数の体温を測定できる商業施設にあるような自動検温装置を各コミセンに配備していただきたい。	<p>【まちづくり推進課・危機管理課】</p> <p>コミュニティセンターの使用にあたっては、ご来館される方に対してはおいでになる前にご自宅等で各自検温いただき、発熱やその他風邪症状等がないか確認のうえ、症状がある場合はご来館をお控えいただくようお願いしております。このことについては、各コミュニティ振興会に通知をさせていただいておりますが、使用者のみなさまに周知徹底いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、現時点で自動検温装置の配備は予定していませんが、非接触型の体温計を災害時用に配備していますので、必要な場合は通常時の集会やイベント時の検温にご利用ください。</p>	
6	コロナ禍で会議も文化祭もできない。山形県は新型コロナの感染者が少ないのだから、従来通りにはできなくても、集会や自治会イベントが開催できるように具体的な手法や基準を示していただきたい。	<p>【危機管理課・まちづくり推進課】</p> <p>本市のイベント等の開催については、県の基本方針と同様とし、「規模別及び態様等別の要件を満たし、かつ感染拡大防止に係る留意事項に対応できる場合」に開催できるものとしております。ただし、全国的な感染拡大や本市における感染経路不明者が確認されておりますので、11月30日から12月13日まで市主催のイベントは中止しております。感染拡大が収まって再開できるようになりましたら、必要なものは工夫しながら可能な限り実施できるようご検討いただきますようお願いいたします。【資料添付】</p> <p>なお、コミュニティセンターにおける集会やイベントにつきましては、開催する内容、参加人数、施設の規模（広さ）等によって条件が異なることから統一した基準を設けることは難しいと考えます。休館等の措置がなくコミュニティセンターを使用できる場合は、前述の基準を参考に開催の可否のご検討をお願いいたします。開催にあたっては、感染症対策を十分に実施いただき、十分な対策を実施できないものについては、中止・延期も含めご判断ください。</p>	<p>亀ヶ崎 コミュニティ 防災センター</p> <p>（ 亀ヶ崎 松原学区 港南 ）</p>
7	将来にわたって子ども達を守るために、CS（化学物質過敏症）について酒田市全体の実態把握と市民の意識共有を図るための啓発が必要と思う。	<p>【健康課】</p> <p>化学物質過敏症を発症なさっている方は全国でも調査数が少なく、市全体の実態把握はなされておられません。周囲の方からの理解を得にくいということもあることから、市民への啓発については、広報・ホームページの活用を検討しております。</p> <p>【教育委員会 学校教育課】</p> <p>本市としては、CS（化学物質過敏症）を訴える児童生徒の報告はされていませんが、例えば、夏場などに制汗剤の使用を認めている中学校では、生徒が制汗剤の香りで体調を崩すのを防ぐために、無香料の物を使用することを指導しています。</p>	

	意見・要望の概要	回答	報告会 会場 【対象振興会】
8	水田の生産調整による転作のそば、大豆の補助金を高くしてほしい。	<p>【農政課】 国は、需要に応じた米生産と水田農業全体としての所得向上等による農業経営の安定を図るため、経営所得安定対策を推進しております。 酒田市農業再生協議会は、「水田フル活用ビジョン」に基づき、経営所得安定対策等交付金のうち産地交付金を活用し、需給調整を推進しております。 ご意見をいただいた「そば」の交付金単価は、令和2年度、水田活用直接支払交付金20,000円/10aのほか、産地交付金の「品質・生産性向上対策」で14,000円/10a、「大豆」は、水田活用直接支払交付金35,000円/10aのほか、産地交付金の「団地化助成」4,000円/10aを取組に応じて交付しております。国は、平成30年以降、産地交付金を転作奨励金の位置づけから産地（本作）化にむけ、目標面積等が達成すれば次年度以降は認めない方向に変えました。このような中、そばの「品質・生産性向上対策」は、取組面積が目標面積を越える状況が続く（作付面積の8割以上）、要件を厳しくすることで単価を維持してきたことから、さらに単価を上げることは、大変厳しいと認識しております。また、産地化にむけた新たな取組メニューの設定（「大豆」も同様）が難しいことに加え、産地交付金自体が減少傾向にある中で、他の取組単価との調整が必要となります。 現実的には大変難しいと思われませんが、頂戴したご意見を酒田市農業再生協議会に報告し、つなげていきたいと考えております。</p>	
9	庄内橋の早期開通を要望する。	<p>【整備課】 庄内橋の架け替え事業促進については、これまで、地元の皆様に組織される「県道余目松山線改良促進松山地区協力会」による、県へのご熱心な要望活動のほか、酒田市においても、酒田市重要事業要望、庄内地方重要事業要望、酒田市長が会長である「庄内地区道路協議会」での要望等を行っております。今後も継続して県へ要望してまいります。</p>	内郷 コミュニティ センター
10	昨年、松山地域で水道管が破裂し苦勞した。酒田市からも給水車が来たが、酒田市には給水車が2台しかないとのこと。災害が多発する中で、少ないのではないのか。	<p>【上下水道部】 本市所有の給水車両は、加圧式ポンプ搭載型給水車両1台、タンク搭載型給水車両2台の計3台があり、災害等への対応を行っています。また、他に給水タンク3基を所有し、状況に応じて市の車両へ取り付けし、対応できる体制になっています。昨年度の松山地区での事故対応時は、隣の鶴岡市に給水車両1台の派遣を要請し、計4台で給水対応にあたりました。 災害時への対応については、日本水道協会山形県支部と災害時に関する応援協定を締結し、給水車両及び職員の派遣を相互に行う仕組みができています。災害の規模が甚大な場合は、東北、全国規模で支援体制が整っています。また、今年度、上下水道お客さまセンター業務の受託事業者との協定によって、災害時に宮城県からの給水車両の派遣が可能になりました。 全国的に災害が多発するなかで、相互に支援しあう関係が構築されていることから、現在の車両台数で、災害時における対応は可能であると考えています。</p>	南部 山寺 松嶺 内郷
11	南部地区防災倉庫は、水害時に水没する場所に建てられている。洪水時水没地域になっているが対策は。	<p>【危機管理課・松山総合支所】 南部コミュニティセンターへ隣接する防災倉庫については、最上川洪水ハザードマップでは0.5mから3mの浸水深の区域と想定されており、当該倉庫への浸水があらかじめ予測される場合は、土のう等を設置するほか、状況に応じて資器材等を安全な場所に移動させることで対処することとしております。</p>	

	意見・要望の概要	回答	報告会 会場 【対象振興会】
12	<p>眺海の森について、宿泊施設も閉館して、東北随一だった夏場のスキー場も廃止される。平田側のちびっこ広場も人工芝が剥げている状況である。眺海の森に賑わいがほしい。</p>	<p>【交流観光課・松山総合支所・平田総合支所・教育委員会 社会教育文化課・スポーツ振興課】</p> <p>眺海の森は、美しく雄大な自然の中での野外学習活動、スポーツ、レクリエーション等を通して、森林の持つ保健休養機能を誰しもが享受できる「県民の森」として位置づけられた施設であると認識しております。</p> <p>現在、森林教室や各種イベントなどで親しまれ、多くの方にご利用いただいておりますが、同時に、様々な施設・設備が老朽化のため更新が必要であったり維持ができなくなったりしているところをご指摘のとおりです。</p> <p>例えば、休館中の眺海の森さんさんについては、民間のアイデアを含め調査事業を行っており、活用方法を検討しているところです。</p> <p>スキー場については、スキー人口の減少、温暖化による降雪状況の変化などから、平田スキー場は子供向けの雪遊び広場として活用し、「松山スキー場」に集約することを検討しています。</p> <p>また、ピクニック広場の複合遊具なども、利用を楽しみに多くの方がいらっしゃることを承知していますが、老朽化遊具設備の維持更新についても課題であります。</p> <p>眺海の森ではその様々な施設・設備ごとに、市では、農林、観光、教育、スポーツといった複数の部署課が関わっており、それぞれでの維持管理を行っているため、今後は統一的な賑わいのビジョンの作成が必要と考えています。</p> <p>そのため、県（庄内総合支庁森林整備課）を中心とした「眺海の森」運営連絡調整会議（不定期開催）により関係部署が一堂に集まり意見交換をしていく中で、その機会をとらえ活用方法を検討し、にぎわいの創出を図っていきたいと考えています。</p>	
13	<p>防災行政無線が令和3年度にデジタル化すると、家庭用受信機は使用できない。ハーバーラジオを利用していくということだが、ハーバーラジオになると不感地区がある。ハーバーラジオを使うとすれば、全戸受信できるようにしてほしい。広域行政組合もあるため、遊佐町も庄内町もつながるようにしてほしい。</p> <p>令和4年に防災無線の家庭用受信機を返すわけだが、高齢者だと「新しいものはもういらぬ」となる可能もある。全世帯からハーバーラジオが聞けるようにしてもらいたい。</p> <p>眺海の森に中継局があり、それを補強するという話だが、どのくらい解消されるかわからない。</p> <p>消防もデジタル化は同じだと思うが、どのように考えているのか。</p>	<p>【危機管理課】</p> <p>3総合支所管内で利用している、防災行政無線戸別受信機の放送については、機器が改正電波法（新スプリアス）に対応していないため、使用できなくなります。その代替策として、酒田市防災ラジオを全市で利用できるよう、令和2から3年度にかけて、FMハーバーラジオ中継局整備事業を進めています。</p> <p>本市以外の、聴取可能エリア拡大については、放送事業者である酒田エフエムまたは当該町でしか事業の実施ができません。</p> <p>防災ラジオの頒布については、市の助成により1台4,400円（税込）で販売しており、来年度以降は3総合支所管内においても取り扱い販売店を募ることとしています。</p> <p>消防用無線については、既にデジタル化に移行済みです。</p>	<p>ひらた 生涯学習 センター</p> <p>田沢 東陽 郡鏡・山谷 南平田 砂越・砂越緑町</p>
14	<p>予算の中で「女性活躍推進事業」があり、“日本一働きやすいまち”とあるが、酒田市は現在、何番目か。そんなに悪いのか。事業内容を見ると、懇談会とか関連して事業を行うとしているが、会議を設ければ、働きやすいまちができるのかと疑問を感じる。</p> <p>（補足）人口増（定着）について職場環境だけの問題ではないのではとの意見。賃金・雇用の問題、高速道路をはじめ、高速交通網の整備の遅れ、酒田に魅力が足りないとの意見も。</p>	<p>【企画調整課・商工港湾課・地域共生課・整備課】</p> <p>女性活躍推進事業は、本市の人口減少の要因の一つとして若年女性の進学や就職による転出超過が顕著であることを踏まえ、その課題解決の取り組みの一つとして女性が働きやすい環境づくりを進めるというものです。そのための旗印として「日本一女性が働きやすいまち」を目指して取り組みを進めているところです。</p> <p>「女性が働きやすい」ということは、ご指摘のとおり男性との賃金格差、非正規雇用の割合が高いこと、社会基盤整備の遅れ、まちの魅力が充実していないといった課題があります。こういった課題も踏まえ、職場環境の改善を促すため事業主への意識啓発の取り組みを行っています。また、「女性が働きやすい」ためには、女性に負担が偏りがちな家事や育児等を家族等で協力し合うことも重要であり、家庭や地域への働きかけの取り組みも併せて行っています。</p> <p>「女性が働きやすい」の実現には、複合的な課題があると捉えており、学識経験者や有識者に加えて当事者である働く女性も含めた「酒田市女性活躍推進懇話会」で本市の実情を踏まえながら、総合的に事業を検討し関係各課と連携して事業を実施しているところです。女性活躍推進事業はその調整を行っている事業として位置づけられています。</p> <p>「女性が働きやすい」につながる取り組みは、行政だけでできるものではなく、事業主や家庭・地域の意識変革も大切であると当該懇話会から指摘されており、今後一層、市全体での機運醸成を図っていきたくと考えています。また、現在は、「女性が働きやすい」と掲げていますが、今後の人口減少社会の中では、誰もがその持てる力を存分に発揮できることが必要になってくると考えており、そのための取り組みでもないと捉えています。</p>	

	意見・要望の概要	回答	報告会 会場 【対象振興会】
15	酒田市の街中に空き地、空き家が多い。農村部も同じ。都市計画税を払っているが、酒田の都市計画はどうか。お金をかけてでも、第三者の意見を聞きながら、都市計画の構想を将来に向けてやったほうがいい。市役所とミライニができてカッコがついても他が衰退するのではないか。	【都市デザイン課】 都市計画の決定、変更をする際には、説明会を開催し、専門家による都市計画審議会の審議を経て、関係機関と協議した上でおこなっています。また、パブリックコメントを実施しながら、都市計画マスタープラン、立地適正化計画等の各種計画を策定、改定しています。人口が減少する中でも都市活力の維持・向上を図り、酒田に住みたいと思ってもらえるような、誰もが住みやすい・住み続けられる都市づくりを目指しています。	新堀 コミュニティ 防災センター （宮野浦学区 新堀 広野 浜中学区 黒森 十坂）
16	水害対策として、河川堤防の草刈りを各自治会で行なっている。県が市に委託して、市から自治体に委託されている。ただ、草刈りが徹底されてやられていないところがある。これは県から市に委託がされていない部分なのか、受け手がいないのか。下流が荒れると排水の効率が下がる。このあたり、市から徹底するよう県に要望いただきたい。 草刈りだが、庄内町側は法面を刈っているが、酒田市は堤内を刈っている。これは県から言われているのか。	【整備課】 河川区域で草刈りがされていないのは、受けていただける団体等がないためです。 これまでも県に対し、除草、浚渫、支障木伐採の計画的実施等による河川環境保全を要望しておりますし、今後も要望を継続してまいります。 なお、河川の草刈りは、「必要な時期に、必要な範囲の対応」として地元自治会に委託しており、河川区域内であれば、どの範囲を行っていただくかは各団体で決めていただいております。	
17	京田川について、防災・減災対策で排水ポンプをつくる、最上川左岸で排水所をつくるなどしているが、京田川の排水が全然なっていない。酒田市として県にどのような要望をしているか。	【土木課】 今後、降雨時の排水状況の把握に努めるとともに、必要に応じて、関係機関と連携を取りながら対策方法等を検討してまいりたいと考えております。	
18	8月1日の亀ヶ崎地区で行ったコロナ感染防止をしながら避難所を開設する防災訓練は大変参考になった。しかし、西荒瀬地区で現実的に起こった場合、当コミセンではマンパワー、知識、資材が足りないため対応が難しい。西荒瀬小の体育館で行うとして、収容人数がこれまでの3分の1程度になると思うが、危機管理課からは公式に出していない。 例えば、希望ホールは定員（収容人数）が決まっているが、集会室・体育館は決まっていない。当局がリーダーシップを持って決めていってほしい。	【危機管理課】 避難所における新型コロナウイルス感染症への感染を防止するため、収容人数はこれまでより減少することとなります。8月開催の亀ヶ崎小学校での訓練では4割程度になりました。これまで通りの人数の受入は難しいですが、市では避難先として広域的避難や安全な親戚・知人宅等への分散避難を呼びかけていますので、市民の皆様にもご協力をお願いします。また、本年10月からは高齢者等の要配慮者を対象としたホテル避難に対する補助制度も創設しております。 新型コロナに対応した訓練実施についてですが、各地区や自主防災会で訓練実施する際は市でも協力させていただきます。今年度中に小中学校に段ボールベッドや多目的テント等を配備するほか、小中学校及びコミセンに感染予防のための衛生用品を配布しますので、訓練実施の際は市へご相談いただければと存じます。	西荒瀬 コミュニティ センター （松陵学区 琢成学区 西荒瀬）
19	酒田市に防災士の資格を持っている人は何人いるのか。今後、独自に資格を取らせるのか、育てていくのか。	【危機管理課】 市内の防災士は本年11月末現在119人です。防災士資格取得のための講座は、県内ではこれまで山形県が開催し、市は各コミ振を通じて受講者を募って受講してきました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により県の講座開催が中止となりました。 資格取得講座について、市単独での開催は難しいですが、来年度以降県で講座を開催する際には積極的に市民の参加を募ります。また、市では来年度、女性の防災リーダーを育成するための講座等の開催を予定しており、本市在住の防災士の方々の協力・連携を図りながら本市の防災士や防災リーダーの育成を積極的に進めていく所存です。	
20	松枯れについて、2年前までは個人宅、神社敷地等の民地は市の助成で伐採までできたが、昨年からは助成がなくなり、市に言っても「今はやっていない」と言われている。状況によって、重機・工作車が入れる・入れないところもあり、工作車で切れば1本あたり相当なお金がかかる。1本ならまだいいが、松枯れはすぐ広がるため、悲鳴をあげている地域もある。要望だが、松枯れ伐採の予算は今後つかないのか。	【農林水産課】 本市で実施している松枯れ（森林病虫害等対策事業）の対象区域は、森林整備計画区域内である、いわゆる庄内海岸林となっています。したがって、個人宅、神社敷地等の民地については、市の助成での伐採等は実施していません。 今後も、対象区域内の森林病虫害等の松枯れ対策は、国・県・市と連携して実施していくこととなりますが、個人宅、神社敷地等については、土地所有者（管理者）等におかれまして、適切に処理（管理）していただくようお願いいたします。	
21	古い家を解体し、更地にすると税金が上がる。放置している人に税金をかけたり、解体した場合は税金を下げたりすると街がきれいになると思うので、国に要望してもらえないか。 解体すると、新しい人が土地を買って、工務店など大工職人の仕事が増えて景気が良くなると思う。	【税務課・まちづくり推進課】 現在も、危険老朽空き家など「人が住める状態にない」空き家については「住宅用地に係る固定資産税及び都市計画税の課税標準の特例措置」の対象から除外し、解体せず放置している状態であっても固定資産税が最大で6倍となる措置がとられています。 解体した場合に固定資産税を下げるなどの税制改正については、県や関係機関とも協議した上で判断してまいります。	

	意見・要望の概要	回答	報告会 会場 【対象振興会】
22	<p>アパート・借家などで自治会に入っていない人の氏名がわからない。国勢調査において、統計係からは「管理している不動産屋さんに聞いて、記入してください」と言われている。一方、不動産屋さんからは個人情報には教えられないと言われている。プライバシーはわかるが、市から不動産屋さんには氏名だけでも知らせるよう言ってもらいたい。</p> <p>(補足) 関連して自治会運営に関するお話もあった。</p>	<p>【情報管理課】 令和2年国勢調査は総務省の所管する統計調査で、総務大臣が任命した調査員が、住民登録や自治会加入にかかわらず、市内に住むすべての世帯を対象に行います。 調査員は、対象世帯を把握したり世帯が調査に応じない時など、現地でできる限りの情報収集に努めますが、その折、住宅地図や家の表札を参考にしたり、近隣住民、自治会長、賃貸住宅であれば大家さんに話を聞くこととなります。建物の管理会社から情報収集することも一つの有効な方法と考えられます。 不動産会社など関係機関への協力については、酒田市長ではなく総務大臣が要請を行うこととなっており、今回の調査に当たっても、関係団体の全国組織に対し協力依頼が出されています。 本市では、個別の事例について不動産屋に情報照会をおこなったり調査依頼することはありますが、市内のすべての不動産会社に対して一括で住民氏名情報の提供するような要請は行っておりません。 ただし、国勢調査は5年に一度の大切な調査ですので、すべての会社や団体、世帯に対し、趣旨理解や協力の為のPRに努めています。</p>	
23	<p>空き家・空き地で草が生えて衛生上よくない。対策のため市に確認してみると、市(まちづくり推進課)では土地所有者の個人情報で教えられないと言われた。何とかしてもらいたい。</p> <p>自治会長は自治会の代表としてお願いしているので、やわらかい対応をお願いできないか。</p> <p>市(まちづくり推進課)では、空き地・空き家の管理として所有者を把握しているのではないか。</p>	<p>【まちづくり推進課】 近隣住民等からまちづくり推進課に空き家等の苦情が寄せられ、所有者等を調査して連絡が取れた場合は、情報を把握しております。しかし、残念ながら、所有者等本人の承諾が得られない場合は、個人情報をお伝えすることが出来ません。空き家等の所有者と連絡を取りたい場合は、まちづくり推進課を介して連絡をとりますのでご相談ください。</p> <p>なお、所有者等には、自治会(近隣住民)と良好な関係を築いていただくため、自治会長や隣家に連絡先を伝えていただくように指導しております。</p>	<p>泉学区 コミュニティ 防災センター</p> <p>〔富士見学区〕 泉学区</p>
24	<p>親の責任ということでも、酒田地区の学力低下につながっていると思う。(小中一貫教育など)高い思想や理想も大事であるが、ぜひ、鶴岡から学力が置いていかれるということがないように施策を講じてほしい。</p>	<p>【教育委員会 学校教育課】 酒田の子どもたちの学力向上を実現するために、3つの柱「教育環境の充実」「教員の指導力向上」「学習習慣の形成」を基に、施策を検討・実施しています。さらに小中一貫教育の推進により、「学力向上」と「生徒指導の充実」を両輪として、子どもたちの資質・能力の育成を目指しています。また、学力向上推進会議(小中一貫教育推進会議)において全国学力学習状況調査や、NRT(標準学力テスト)及びQ-U(よりよい学校生活を送るためのアンケート)の結果を分析し、学力向上施策の効果を検証しながら、よりよい施策について検討を続けています。</p>	
25	<p>るんるんバスの料金が200円になった。免許を返納した高齢者や障がい者は100円引きだが、るんるんバスを無料にしてほしい。</p>	<p>【都市デザイン課】 るんるんバスの運賃については、平成30年度に市全体で使用料の見直しがあり、使用料が経費の半額に満たない場合は上限2倍まで引上げることになりました。バス乗車1人当たりの経費は455円(平成30年度)となっており、受益者負担の観点から運賃を100円から200円に値上げしましたのでご理解をお願いします。</p>	

	意見・要望の概要	回答	報告会 会場 【対象振興会】
26	<p>酒田駅前にミライニができるが、本楯駅、砂越駅や東酒田駅などのJRの駅と連携した取り組みはできないか。例えば、前出の駅に図書館用の駐車場を作るなどできないか。また、図書館の中に電車の時刻表の表示などできないか。</p>	<p>【企画調整課・都市デザイン課・教育委員会 図書館】 (市内各駅との連携) 駅前再開発にあたっては、JR酒田駅との連携は実施していますが、周辺駅との連携はまだ取り組んでいませんので、鉄道会社とどのような取組みができるか協議していきたくと思います。 (周辺駅への駐車場整備) ご提案いただいた周辺駅の駐車場については、ミライニ利用者を増やすために市が積極的に周辺駅の駐車場を整備することは今のところ考えておりません。ただ、駐車場整備は電車利用者の需要量に比例すると考えますので、ミライニ利用者による電車利用が増え、結果、総体的に電車利用者が増えることになれば、JRと協議していくことになると思います。 (図書館への時刻表表示) 図書館や観光案内所においては駅構内と同様の発着情報を電子掲示することはできませんが、タブレット等を活用して時刻表を検索できるようにしています。</p>	
27	<p>酒田にあって、鶴岡にないものとして、港、それから城輪の柵がある。城輪の柵は、酒田はもっとアピールすべきと考える。鶴岡の城下町、致道館だけでなく、城輪の柵は平安時代に今の秋田県・山形県の行政機関だったわけで、観光地としていいものになるのではないか。お金がかかると言われればそれまでだが、まずは、例えば、城輪の柵などの有名な名前を地名に加えたバス停などを作れないものか。現在のバス停で「門屋(かどや)」を「城輪の柵(門屋)」とすればアピールできるのではないか。八幡のぐるっとバスで城輪の柵まで延伸できないか。</p>	<p>【都市デザイン課・交流観光課・教育委員会 社会教育文化課】 市内には城輪の柵に限らず、史跡旧鑑屋や山居倉庫など歴史的な資源が多くあります。これらを点ではなく面として観光に繋げ、交流人口の拡大に活かすことは大変重要なことと考えておりますので、今後、財政面を考慮しながら積極的に検討をしていきたくと思います。 なお、門屋を停車する民間バス路線及び八幡のぐるっとバスについては、令和4年度に予定している公共交通の改編で、八幡地域へのデマンドタクシーの導入により廃止を検討しています。</p>	<p>本楯 コミュニティ センター</p>
28	<p>通学路の側溝に蓋が付いたが、電柱のところが危ないため、路側帯をつけてもらいたい。お願いしたいのは、本楯駅からコミセンまでの通りで、お年寄りのためにも是非、主要道路には路側帯をつけてほしい。</p>	<p>【土木課・整備課】 要望の内容を詳細に確認したいことから、現地にて立会いをさせて頂きたいと思っております。また、当該箇所には市道のほか県道も該当することから、地域からご要望があったことを山形県にお伝えいたします。</p>	<p>上田 本楯 南遊佐 一條 観音寺 大沢 日向</p>
29	<p>小中学校にエアコンが設置されて学習環境がよくなった。今年度、GIGAスクール事業で一人1台PC(タブレット)の予算が9月定例会に補正予算で可決された。GIGAスクールについて、保護者に内容がよく伝わっていない。これを何とかしていただきたい。 政府もデジタル化を盛んに言っている。合わせてベテラン教員のサポートをお願いしたい。</p>	<p>【教育委員会 学校教育課】 文部科学省が昨年12月に発表したGIGAスクール構想においては、Society5.0に対応できる人材育成、一人一人の教育の提供による自己実現を目的として、高速大容量のネットワーク整備、児童生徒の一人1台パソコンの整備等を行うこととしています。 当初、令和5年度までに段階的に整備する方針でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によってオンラインでの学習の重要性が増し、令和2年度での実現へと前倒しされました。 本市においても小・中学校の高速Wi-Fi環境の整備、一人1台パソコンの整備、家庭にインターネット環境のない児童生徒のためのWi-Fiルーター等の整備などが進められております。一人1台パソコンの導入にあたっては、教員の指導スキルの向上が必要になってくるため、GIGAスクールサポーターを配置し、教職員の研修を行っていく計画です。計画では、1月頃からGIGAスクールサポーターが全小中学校に赴き、GIGAスクール端末や遠隔学習機器を活用した学習方法について、全教職員向けに研修する予定です。 また、GIGAスクール推進事業の内容については、今後、お便り等を通じて保護者へ周知していきたくと考えています。</p>	

	意見・要望の概要	回答	報告会 会場 【対象振興会】
30	(希望ホールで催事があるときに)市役所側の駐車場で近いほうが空いていても誘導員がいて制止されることがあるが、止められるようにしてほしい。	【総務課】 正面駐車場の警備につきましては、時間帯による混雑状況の変化に即時対応し、かつスムーズな誘導と事故防止のため、警備員を配置しており、通常は、来庁者のために正面玄関に近い空き駐車スペースに誘導しております。希望ホールの催事のため、そちらに近いスペースに駐車したい場合は、その場で誘導員に一言伝えてください。	
31	平成25年4月に三小学校が合併し平田小になった。2km以内は通年徒歩、2～3kmは春から秋が徒歩、冬がバス、3km以上は通年バスとなっている。北平田は14自治会だが、3つ(漆曾根、新青渡、久保田)が徒歩。問題は漆曾根だが、南北に長く、地区内北から南まで1.1kmある。漆曾根の南から平田小まで1.9kmある。合わせると3km。前出の規定からいくと、春から秋が徒歩、冬がバスとなる。徒歩では1年生は疲れて勉強できない状況。保護者が安全のため一緒についているが、保護者の負担にもなっている。保護者もバスであれば安心である。 また、地区内でも若手に地区の活性化に力を貸してほしいと言っているが、登校等でも負担が増えれば、市街地の学校が近いところにアパートを借りたほうがいいともなる。子どもたちが安心して登下校できる体制を。平田小だけの問題だけではない。全市的な問題だと思う。環境づくりもお願いしたい。	【教育委員会 企画管理課・学校教育課】 本市のスクールバスは、国の補助金を受け運行しているため、対象となる地域は補助の基準に従い決定しておりますので、現状では基準の見直し等は考えておりません。	
32	上田地区(吉田)で熊が出た。学校から登下校を送迎してほしいと依頼があった。バスのところでは問題はない。徒歩の家庭だけ、その時々学校で指示で振り回される。送迎できる家庭とできない家庭がある。	【教育委員会 学校教育課】 熊が出たことにより、緊急的に送迎をお願いさせていただきましたが、どうしても送迎ができない場合は、その都度スクールバス等の臨時便を検討させていただきますので、学校を通じてご相談ください。	北平田 コミュニティ センター
33	域内の「止まれ」とかの表示は交通安全協会が担当しているが、市道の白線が消えてほとんど引かれていない。どこの管轄で対応しているのか。スーパー農道はすごくきれいに白線が引かれている。その辺り酒田市は対応できないものか。	【土木課】 本市では区画線の引き直しを、通行量や通学路指定の有無等により優先度を決め順次行っています。ご理解をお願いします。	若浜学区 浜田学区 東平田 中平田 北平田
34	廃校となった学校をよく見る。南遊佐、上田、中平田、北平田。上田のグラウンドは整備されているように見える。荒れているのが目立つのは、南遊佐、中平田。中平田の場合は建物もある。市側ではどのように考えているのか。市側へ言うと「地元ではどのように使いたいですか」と返ってくる。美観上の話でも言っている。何とかならないか。	【総務課・行政経営課】 例として挙げられている各廃校の利用状況は以下のとおりとなっています。 ・南遊佐、上田：コミュニティセンター敷地として管理 ・北平田：地元の広場及び農業用施設用地としてコミュニティ振興会に貸付 ・中平田：現在利用計画なし、定期的な草刈等の維持管理を実施 既に活用方針が決まっている廃校については、環境美化に努めながら、今後も当該目的で使用してまいります。今後の利用計画が未定の廃校については、周辺環境に悪影響を及ぼさないように、定期的な草刈等の維持管理を徹底します。その上で、地元の意向も踏まえながら、なるべく早期に活用方針を策定していきたいと考えています。	
35	廃校の跡地利用のめどはどうか。	【総務課・行政経営課】 廃校となった小学校・中学校については、既にコミュニティセンター等で活用しているものを除き、具体的な利用計画の目途が立っていないのが現状です。 現在、利用計画のない廃校は、外部のニーズ(売却・貸付)を把握するためにHP上での公開を行っています。廃校の利活用については、内部での活用という観点だけではなく、HPを見た外部団体等のニーズや地元での活用意向を踏まえながら、多角的に検討してまいります。	
36	中野新田古荒線の凸凹道路(そろばん道路)を何とかしてしてほしい。スクールバスも通るが、救急車は通らない。	【土木課】 横断水路前後の段差は舗装擦り付けを行っています。その後、段差が継続すると思いますので経過を見ながら対応します。	

令和2年 議会報告会における意見・要望等について

	意見・要望の概要	回答	報告会 会場 【対象振興会】
1	<p>議会報告会資料に否決案件・継続審議の経過や審議内容を加えていただきたい。 発言議員名は不要だが、審議経過と内容を開示していただきたい。</p>	<p>今回配布の「議会報告会 資料」に掲載した定例会・臨時会の期間では、市長より提案があった議案において否決された議案はありません。 今後、否決や継続審議となる議案があった場合、その議案は市民の皆さんにも関心の高い内容と思いますので、定例会後に発行している「議会だより」での紹介、議会報告会にて議員より詳しく説明するなど議会報告会のあり方についても検討してまいります。</p>	<p>亀ヶ崎 コミュニティ 防災センター</p> <p>〔 亀ヶ崎 松原学区 港南 〕</p>